

秋の風が吹き抜けるようになりました。8月・9月上旬は、激しい雷雨と豪雨による冠水、竜巻等、地球規模の温暖化が進んでいることを感じさせる気象現象が大きく報道されました。

8月の電話相談・来室相談から ～ 高校3年生(受験生)を持つ母親の相談 ～

8月下旬に来室された母親(高校3年生を持つ親)は、我が子が学級担任に見捨てられてしまったという思いと進路に対する不安をもっておられました。話は、夏休みの課題を予定の期日に提出できなかったことから始まります。そのことでのお叱りは自身の蒔いた種なので当然と認めつつも、その後、いくら謝罪しても取り付く島なく「あなたのことはもう知らない」「三者面談もしない」と言われ、志望校の推薦をお願いしたいと考えていただけに情けなく、そのうえ「進学動機がありきたりだ」と、これまで考えていた進路を全面否定され、全く関連のない分野の学校を勧められたため、本人の落ち込みが激しく、母親自身も途方に暮れているというものでした。

どんなタイミングで、どう謝罪したら学級担任の怒りがおさまるのか悩んでいる。親が出て行っていいものかも……。相談を受けた私は、憎くて発している言葉でなく、担任の本心は社会の厳しさを教えるための激励なのではないかと話をしたのですが、学級担任も忙しさが重なり、心にやや余裕のない時だったのではないかと想像しています。

学校現場(先生方)はいつも忙しいという印象があります。相談しようと職員室に向かっても、忙しそうな様子に諦めて引き返すこともあると聞きますので、手紙に親子の想い(謝罪と反省、これからの覚悟)を綴ってみてはどうだろうかとアドバイスをしたのですが、「**やわらかい言葉の中にもトゲがあったり、きつい言葉の中にもトゲがない**」場合もあります。親御さんからの一方的な話ではありますが、教え諭すような言葉掛けができなかったものかという思いを持ちながら、これまでの我が身を振り返っています。

(相談員・鈴木)

<リスタートクラス> ～ 「千と千尋の神隠し」から学ぶ働く姿勢 ～

最近、話題になっているジブリ映画『風立ちぬ』は、宮崎駿監督の引退作品となってしまいました。ジブリ作品については、リスタートクラスでも、よく話題となります。『千と千尋の神隠し』や『風の谷のナウシカ』などが人気のようです。

『千と千尋の神隠し』での、千尋の「働く」姿勢について、時々取り上げることがあります。「あまったれの小娘に、仕事なんか、あるもんかね。」と冷たく跳ね除ける湯婆婆に対して、「ここで働かせて下さい」と必死に食い下がり、何とか「油屋」での働き口を勝ち取りました。そして、職場の仲間であるハクやリンから助けをもらいながら、ピンチを乗り越え、一生懸命に働く姿はとても逞しく、昨今の就職難においてとても学ぶべきものがあるとの話になります。

7月からスーパーで働き始めたAさんも、そんな千尋の姿と重なるものがあります。一時、指導して下さる方のあまりにも厳しい言葉に、辞めることも考えましたが、何とか続けているようです。どちらかと言うとゆっくりペースで、お世辞でも気が利くとは言えないAさんですが、意志が強く、必要以上にネガティブにならないところが、持続できているポイントのようです。

『風立ちぬ』は「風立ちぬ 生きねば」がコンセプトのようですが、近々、この映画を通して、「生きること」についてディスカッションをしてみたいと思います。

(相談員・菖蒲)



<適応指導教室 (シャイニングの活動) >

暑い夏もパワフルに・・・

シャイニングクラス通級生にとっても8月は暑い夏でした。上旬は自主学習会を設定し、日ごろの学習不足の解消に努めました。学校から渡された夏休みワークを中心に、クーラーの効いた涼しい部屋で個々に取り組める貴重な時間です。

「学校の皆はもうとっくに夏休みに入っているのになー。」というぼやきもありましたが、それには耳も貸さず時間目いっぱい取り組むようにしました。

さらに最終日は、機会をねらっていた**エダマメの収穫と販売作業**に充てました。霧雨の蒸し暑い中でしたが、土汚れも嫌がらず作業をする姿には感心させられました。最後、駄賃代わりのエダマメを手にするのとやはりにっこり。こうして遅ればせながら夏休みを迎えました。短い休みも明けて「あのマメはとってもおいしかったです。」という感想に、相談員もやっぱりと大きくうなずいたところでした。**再スタート後、相変わらず良好な出席の通級生**ですが、休み中の課題や作文の完成はというと、残念ながらもう一步。今年度ももう半分が過ぎようとしている時期ながらそれほど焦りを見せない生徒達に少々歯がゆさを感じながら、完全な消化を促しています。

中学校生活の思い出の1, 2を競うものとして、修学旅行が挙げられると思います。学校もだいぶ前からその準備に入っているようで、教室を訪問してくれていろいろな情報を流してもらっています。生徒達は、当然参加したい気持ちを膨らませてはいるものの不安も大きいようで、最近悩み始めています。学年では細かい部分まで配慮しながら、スケジュールに従って順調に進んでいるようです。このようなケースの生徒達なので、もしかしたら当日の朝まで参加は不確定かもしれません。しかしながら前向きになるチャレンジとチャンスは大事にさせていきたいと考えています。多くの仲間と共通の楽しい空間と思い出を手にするように、そのために大きな力強い一歩を踏み出せるように、彼らの背中を押していきたいです。(相談員・林)



シャイニングクラス (社会科の授業) 9月6日



収穫したエダマメの選別作業 (8月9日)

9月の活動

在籍 シャイニングクラス 3名

リスタートクラス 6名

シャイニングクラス	リスタートクラス
○月曜日 理 科、数 学	○月曜日 自主活動
○水曜日 国語 (社)、英 語	○木曜日 体験活動
○金曜日 社会 (国)、体 育	
○木曜日 体験活動 (月2回)	



体験学習で制作した「紋切りうちわ」(8月22日)

◆ 体験学習 ⑩ 9月5日 (木)

マシンで雑巾づくり

◆ 体験学習 ⑪ 9月26日 (木)

サツマイモの収穫・販売

あ と が き

夏休み明けは、「課題ができていなくて学校に行きたくない」の登校しぶりが始まり、不登校になる生徒が増える時期のようです。中学校へ入学し、ギャップを感じながらの頑張り疲れ、勉強や友人関係でのつまずき、上下関係になじめない部活動、親の過干渉・過保護への反抗、力の限りやってもうまくいかず、弱音を吐いて逃げ出したいがそれが出来ない等、複雑な心の動きが不登校となって現れてくるようです。学校と家庭が機会を捉えて連携して子どもの様子を見ていきたいものです。

教育相談室担当者

- ダイヤルなんでも相談 鈴木
- TEL 23-7266
- 適応指導教室 (シャイニング) 林・小野
- 青少年の自立支援 (リスタート) 菖蒲
- TEL 22-2111
- (内線 445、448)